

令和5年台風第6号による大雨に関する河川・砂防の被害状況等について

令和5年8月31日7:30時点

※速報であり、数値等は今後変わることもある。

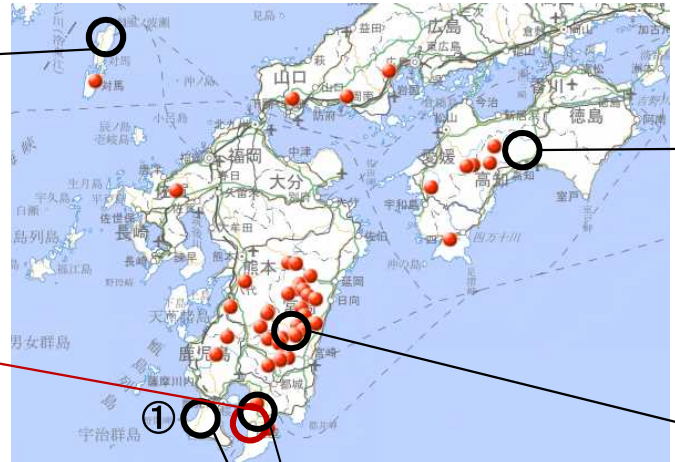
国土交通省 水管理・国土保全局

- 5県(高知県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)において、県管理の8水系9河川で氾濫が発生(浸水解消)。その他の河川の被害については内水被害を含めて調査中。
- 110ダムで洪水調節(事前放流を含む)を実施。うち48ダム(うち利水ダム32)で事前放流を実施。
- 宮崎県、鹿児島県、沖縄県等で58件の土砂災害が報告されている。


○ : 浸水被害が発生した河川
● : 事前放流を実施したダム

<長崎県管理河川>
さごがわ きごがわ つしまし
佐護川水系佐護川(対馬市)

土砂災害
きもつきぐんみなみおおすみちよう
(鹿児島県肝属郡南大隅町)

<高知県管理河川>
こくぶがわ ふなれがわ なんこくし
国分川水系舟入川(南国市)



ふなれがわ
舟入川の浸水状況(浸水解消)

<宮崎県管理河川>
おおよどがわ いわせがわ まがたがわ
大淀川水系岩瀬川、真方川(小林市)

<沖縄県管理河川>
まんながわ まんながわ もとぶちよう
満名川水系満名川(本部町)
とどろきがわ とどろきがわ なごし
轟川水系轟川(名護市)



まんながわ
満名川の浸水状況(浸水解消)

<鹿児島県管理河川>
おおうらがわ だいおうがわ みなみし
大浦川水系大王川(南さつま市)
ながたがわ ながたがわ やくしまちよう おがわ おがわ きんこうちよう
永田川水系永田川(屋久島町)、雄川水系雄川(錦江町)




だいおうがわ
① 大王川の浸水状況(浸水解消)

ながたがわ
② 永田川の浸水状況(浸水解消)

【仁淀川水系波介川】波介川河口導流路の整備により大幅に浸水被害を軽減

速報

位置図

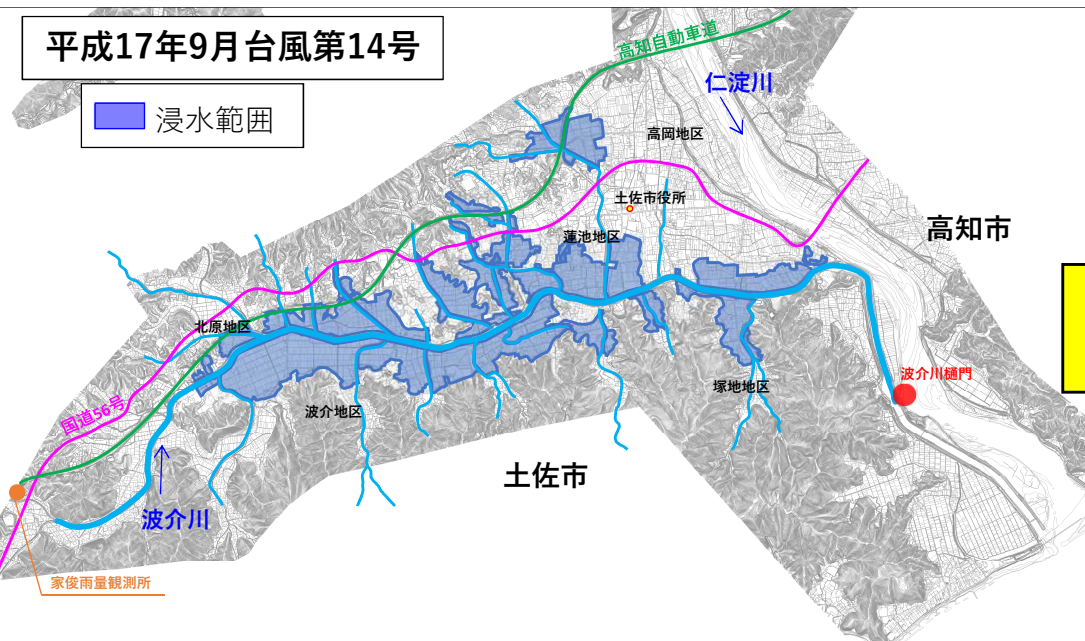


■仁淀川水系波介川では、仁淀川本川の背水の影響により、浸水被害が頻発していたことから、波介川河口導流路を整備し平成24年5月に運用を開始。

■令和5年台風第6号では、8月9日～10日にかけて線状降水帯が発生し、過去に甚大な被害をもたらした平成17年9月台風第14号を上回る降水量を記録したが、波介川河口導流路の整備により、浸水面積が533haから20haにまで減少し、浸水家屋は111戸から1戸へと大幅に軽減。

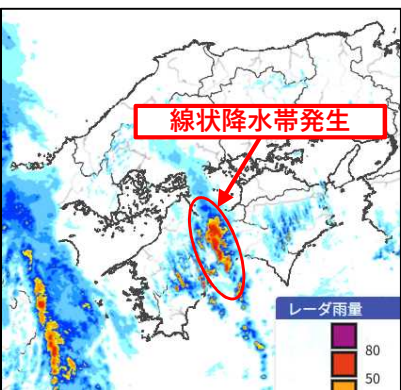
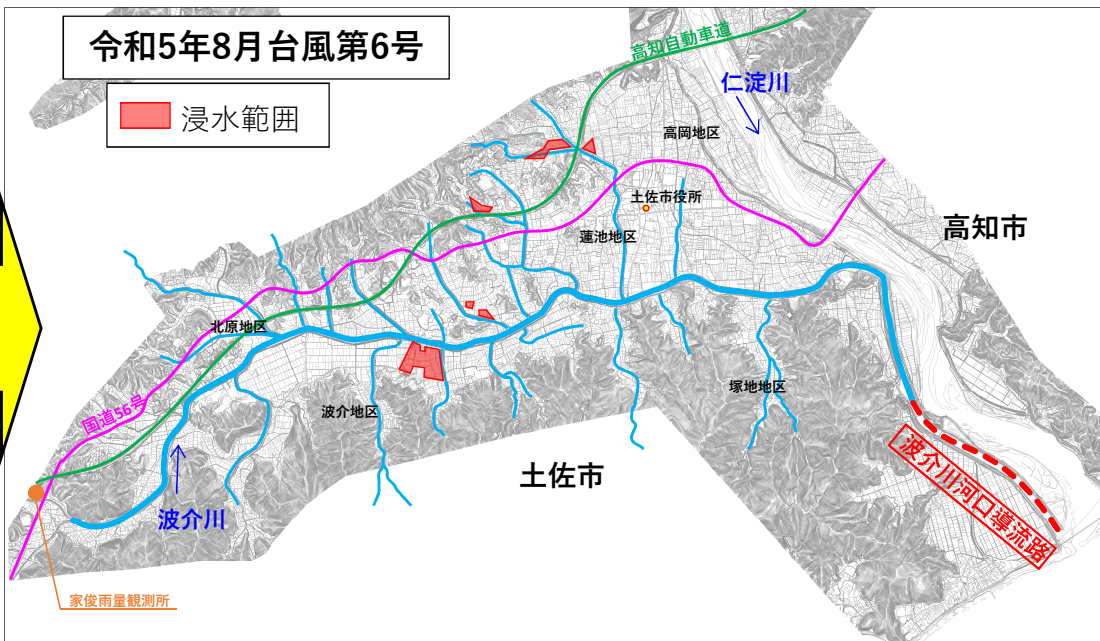
平成17年9月台風第14号

■ 浸水範囲

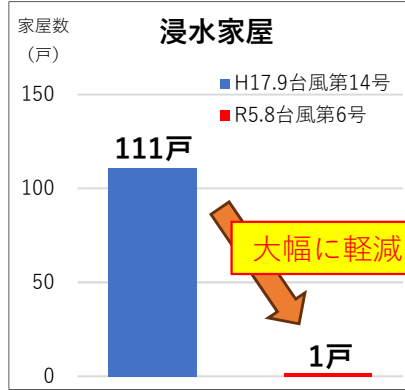
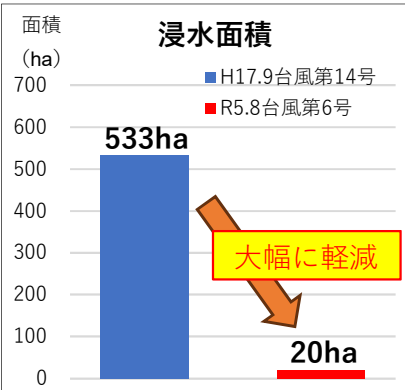
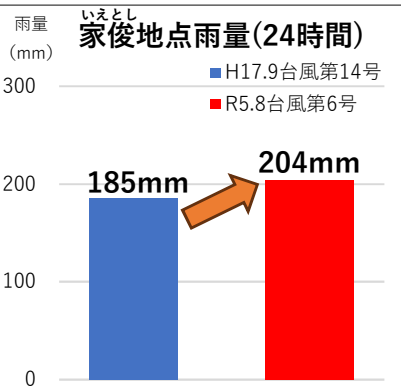


令和5年8月台風第6号

■ 浸水範囲



令和5年8月10日 0時40分



波介川河口導流路 整備状況



※本資料は速報版であり今後変更となる場合があります。

令和5年台風第6号による主な道路の被害

(令和5年8月31日(木) 8時00分時点)

【被害累計】

- 高速道路等：8路線67区間で通行止め（うち、被災による通行止めなし）
- 直轄国道：8路線17区間で通行止め（うち、被災による通行止めなし）
- 補助国道：10路線12区間で通行止め
- 都道府県道等：12県 78区間で通行止め

【現状】

- 通行止めなし
- 通行止めなし
- 通行止めなし
- 4県10区間で通行止め

<代表的な被災事例>

凡例

- ⊗ 被災による通行止め
(補助国道、地方道)

<都道府県道の被災等による通行止め>

- 和歌山県（1区間）、愛媛県（1区間）、
宮崎県（5区間）、鹿児島県（3区間）

国道505号[8/6 13:00~8/21 16:00解除済]

なごし こが
沖縄県名護市呉我
土砂崩れ



被災状況

解除後

国道388号[8/9 17:00~8/12 16:00解除済]

ひがしうすぎぐんしいばそん おおかわうちおさぎ
宮崎県東臼杵郡椎葉村大河内尾崎
路肩洗掘(3世帯8人の孤立が発生し解消済)



被災状況

解除後

国道448号[8/9 13:30~8/12 14:30解除済]

きもつきぐん みなみおおすみちよう はなのき
鹿児島県肝属郡南大隅町花ノ木
倒木



被災状況

解除後

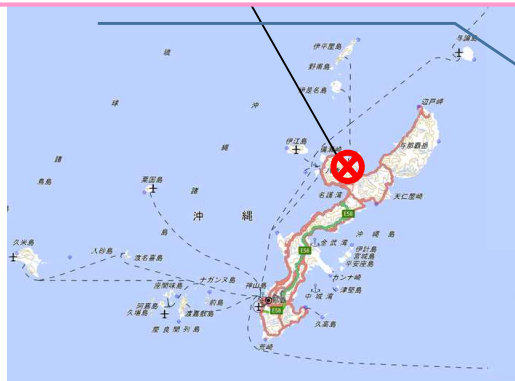
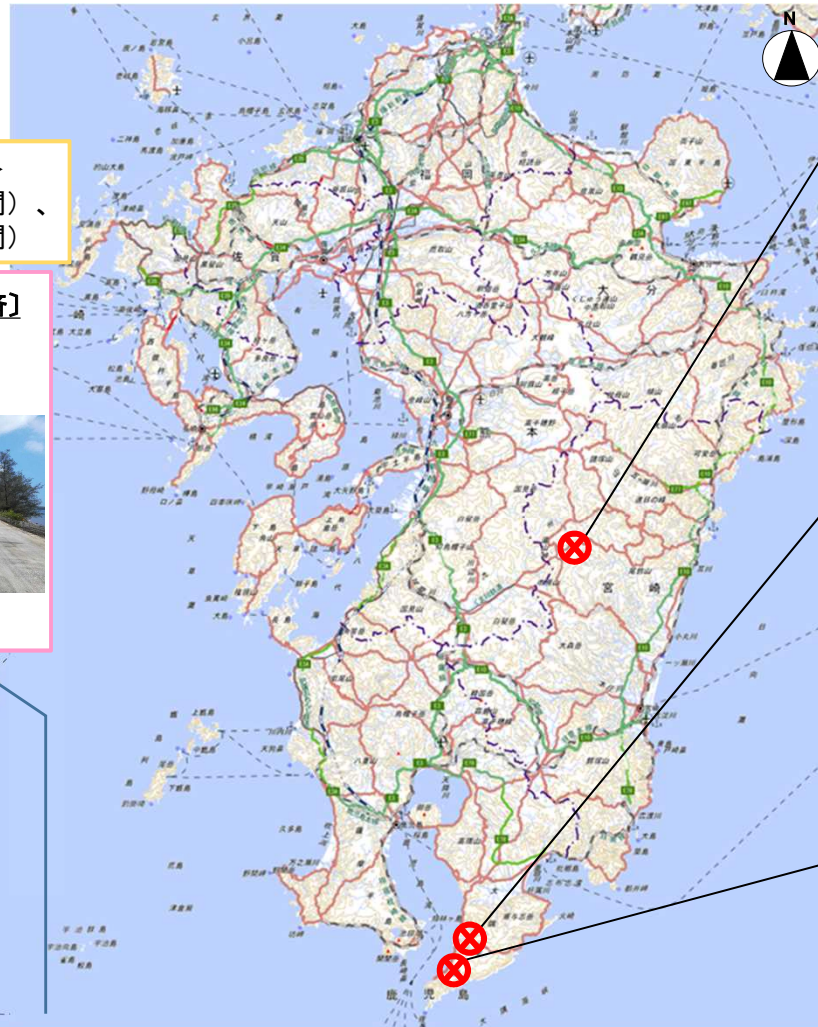
国道269号[8/9 18:00~8/10 17:00解除済]

きもつきぐん みなみおおすみちよう ねしめ やまもと
鹿児島県肝属郡南大隅町根占山本
土砂崩れ



被災状況

解除後



令和5年台風第6号に対する国土交通省の対応

- 台風の影響により進路に近い沖縄、九州、四国を中心に大雨となり、沖縄地方や九州南部・奄美地方、九州北部地方、四国地方では線状降水帯が発生し、**九州南部や沖縄、四国で平年の8月の月降水量を超える大雨**となった。
- 国土交通省では、四国、九州、沖縄地方の地方公共団体へ**TEC-FORCE等を派遣**し、リエゾン活動、気象解説(JETT)、浸水排除、被災状況調査などの自治体支援を実施した。
- 発災後の迅速な被害状況把握として**防災ヘリによる広域被災状況調査**を実施し、映像等を自治体と共有した。
- 河川氾濫等による浸水被害に備え、**排水ポンプ車等を派遣**した。

・TEC-FORCE派遣人数のべ136人・日
 ・災害対策用機械等のべ16台・日

■リエゾン・JETTによる情報支援

○ リエゾンによる支援ニーズの聞き取り、被災情報の提供・収集、JETTによる気象情報の提供等を実施



リエゾンによる情報提供(宮崎県延岡市)



リエゾンによる情報収集(鹿児島市薩摩川内市)



気象解説を実施(鹿児島県庁)

■災害対策機械による支援活動

○ 洪水等による浸水に備え、各地へ排水ポンプ車等を派遣



排水ポンプ車を派遣(愛知県大洲市)



排水ポンプ車を派遣(高知県四万十市)

■防災ヘリによる広域被災状況調査

○ 上空から広域の被災状況調査を行い、調査映像を自治体と共有



防災ヘリによる広域調査(宮崎県延岡市)